

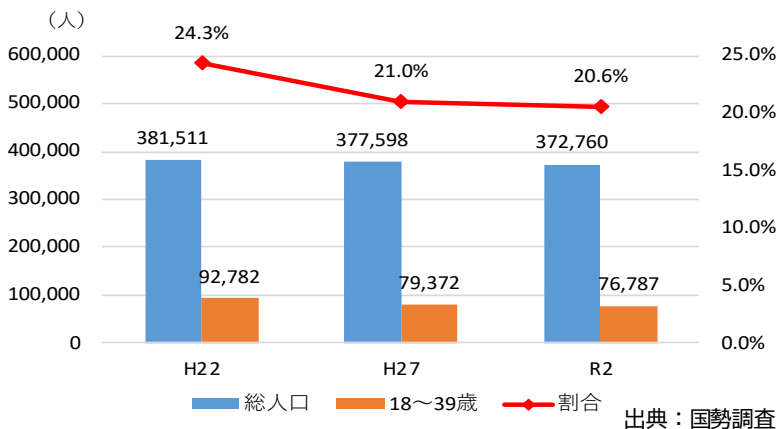
長野市の若者を取り巻く状況

(1) 人口・世帯

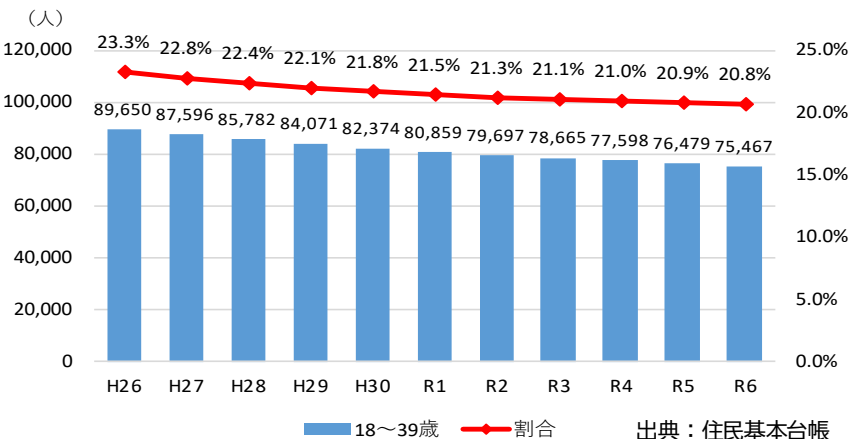
①人口

- 18～39歳人口は減少が続いている。総人口に対する割合も低下しているが、低下幅は鈍化傾向

■総人口及び18～39歳人口・割合の推移（国勢調査）



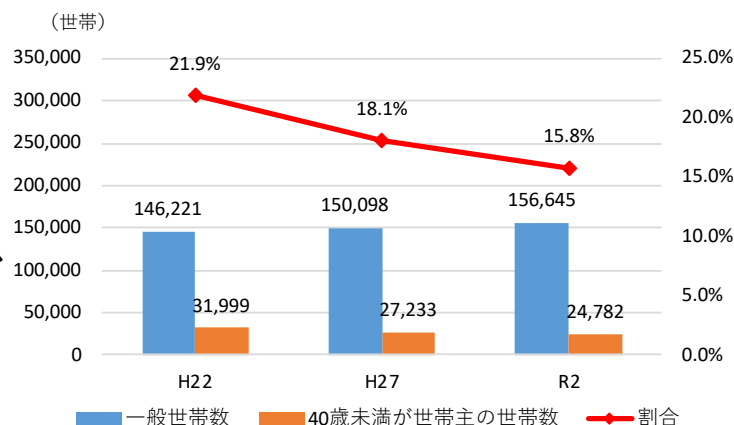
■18～39歳人口・割合の推移（住民基本台帳）



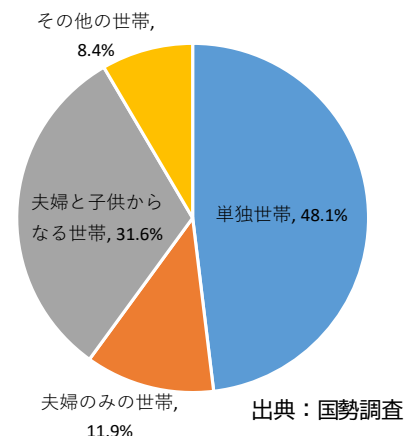
②世帯

- 一般世帯数は増加しているが、40歳未満が世帯主の世帯数は減少し、一般世帯数に対する割合も低下
- 40歳未満が世帯主の世帯の世帯構成は、単独世帯が約5割、夫婦のみ世帯が約1割、夫婦と子供からなる世帯が約3割

■一般世帯数及び40歳未満世帯主世帯数・割合の推移



■40歳未満世帯主世帯の世帯構成（R2）



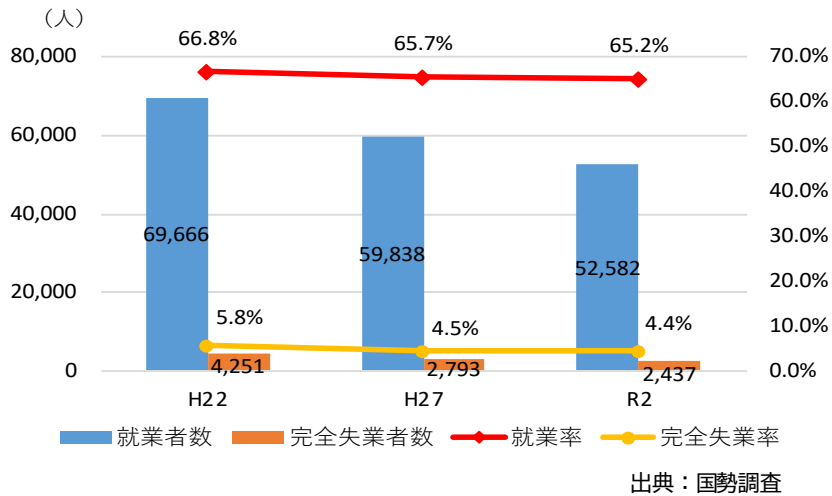
長野市の若者を取り巻く状況（つづき）

(2) 就労の状況

①就業・失業

- 人口減少に伴い、40歳未満の就業者数及び完全失業者数は減少しており、就業率、完全失業率も低下している。

■40歳未満の就業者数（率）・完全失業者数（率）の推移



■40歳未満の就業者数（率）・完全失業者数（率）の推移

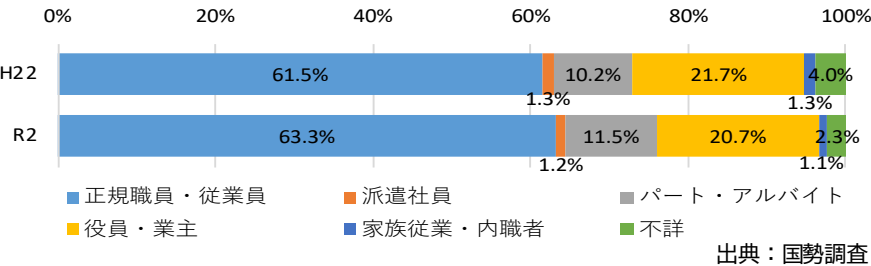
		総数	労働力人口	就業者	完全失業者	就業率	完全失業率
男	15～19歳	8,457	1,089	1,012	77	12.0%	7.1%
	20～24歳	7,375	5,301	4,912	389	66.6%	7.3%
	25～29歳	7,359	6,647	6,309	338	85.7%	5.1%
	30～34歳	8,237	7,604	7,320	284	88.9%	3.7%
	35～39歳	9,594	8,966	8,632	334	90.0%	3.7%
	40歳未満	41,022	29,607	28,185	1,422	68.7%	4.8%
女	15～19歳	7,950	926	868	58	10.9%	6.3%
	20～24歳	6,639	4,898	4,641	257	69.9%	5.2%
	25～29歳	7,265	6,061	5,830	231	80.2%	3.8%
	30～34歳	8,245	6,183	5,955	228	72.2%	3.7%
	35～39歳	9,521	7,344	7,103	241	74.6%	3.3%
	40歳未満	39,620	25,412	24,397	1,015	61.6%	4.0%

出典：国勢調査

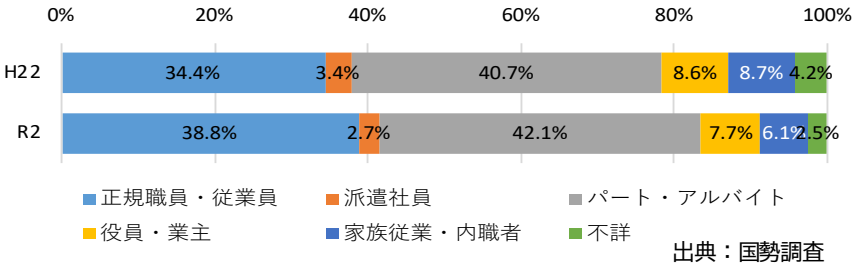
②従業上の地位(全年齢)

- 男性に比べて女性の正規職員・従業員の割合が低い。
- 女性の正規職員・従業員の割合が10年間で大きく増加している。

■性別・従業上の地位の割合の推移【男性】



■性別・従業上の地位の割合の推移【女性】

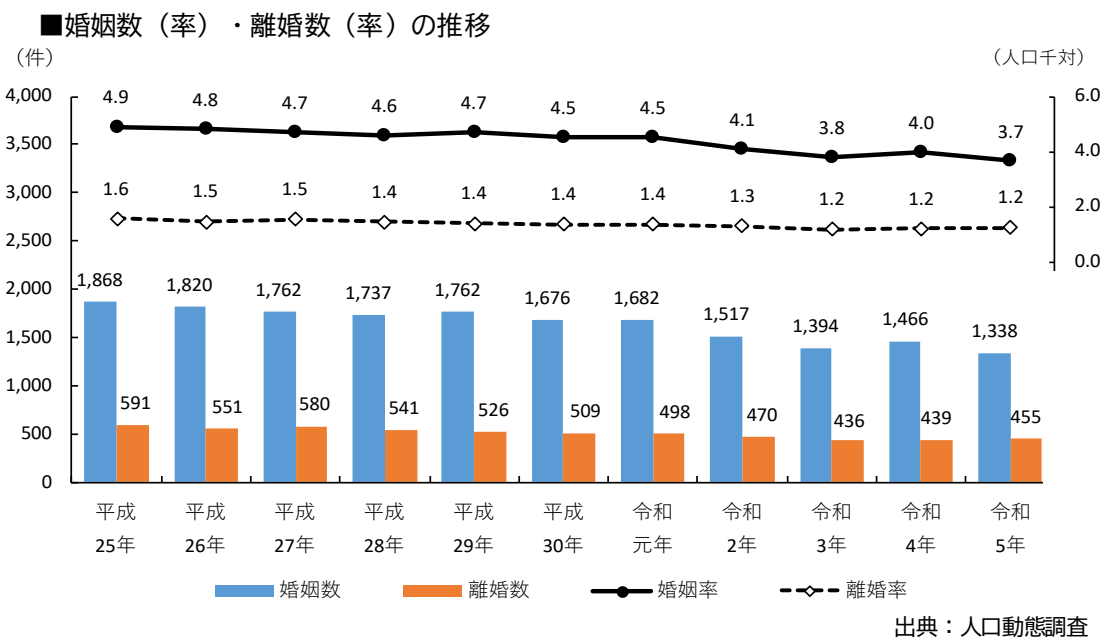


長野市の若者を取り巻く状況（つづき）

(3) 結婚の状況

- 40歳未満人口の減少に伴い、婚姻数、離婚数ともに減少傾向がみられる。
- 40歳未満の総人口に対する割合が低下しており、婚姻率※、離婚率※ともに低下している。

※婚姻率：人口千人あたりの年間婚姻件数
※離婚率：人口千人あたりの年間離婚件数



- 性別、年齢別の未婚率の推移をみると、男性、女性ともに、35～39歳を除いた全ての年代で未婚率が上昇している。

■性別・年齢別未婚率の推移

	男性			女性		
	平成22年	令和2年	差	平成22年	令和2年	差
15-19歳	99.5%	99.7%	0.2	99.3%	99.7%	0.4
20-24歳	92.9%	93.4%	0.5	88.7%	90.9%	2.2
25-29歳	69.3%	69.7%	0.4	59.7%	61.1%	1.4
30-34歳	43.9%	45.9%	2.0	33.0%	35.1%	2.1
35-39歳	33.3%	32.7%	△0.6	22.0%	21.8%	△0.2

出典：国勢調査

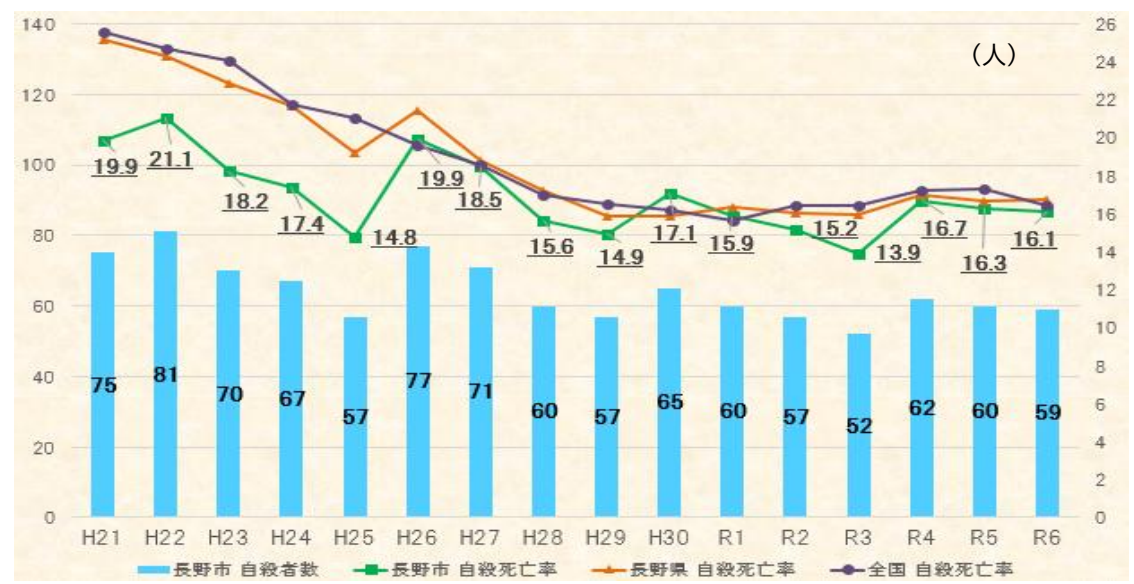
長野市の若者を取り巻く状況（つづき）

(4) 自殺の状況

- 本市の自殺者数は、平成21年以降、減少傾向がみられ、近年は60人前後で推移している。
- 自殺死亡率※の推移をみると、平成25年までは全国や県と比べて低く抑えられていたが、平成26年以降は、全国、県と同水準で推移している。

※自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺者数

■長野市の自殺者数と自殺死亡率の推移



出典：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

- 本市の自殺死亡率は、男性の20歳代、30歳代で全国と比べて特に高い。

■長野市の自殺死亡率(2019～2023 男女別、年代別)

